

キュウリ炭疽病、褐斑病に対する数種薬剤の防除効果

福島県農業試験場場病理昆虫部
平成17年度試験成績概要

1 部門名 野菜－キュウリ－病害虫防除

分類コード 03-01-23000000

2 担当者 芳賀紀之・堀越紀夫・平子喜一

3 要 旨

キュウリ炭疽病、褐斑病に対する薬剤の防除効果を検討した。

(1) 炭疽病において、予防散布ではアゾキシストロビン水和剤（アミスター20フロアブル）、マンゼブ水和剤（ジマンダイセン水和剤）、チオファネートメチル水和剤（トップジンM水和剤）、ジェトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤（ゲッター水和剤）、TPN水和剤（ダコニール1000）で高い防除効果が認められた。菌感染後の散布ではチオファネートメチル水和剤、ジェトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤で発病抑制効果が認められたが、その程度は低かった。

(2) 褐斑病において、予防散布ではジェトフェンカルブ・プロシミドン水和剤（スミブレンド水和剤）、フルジオキシニル水和剤（セイビアーフロアブル20）、ジマンダイセン水和剤、ジェトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤、イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤（ベルコート水和剤）、イミノクタジン酢酸塩・銅水和剤（ベフドー水和剤）、ポリカーバメート水和剤（ビスダイセン水和剤）、TPN水和剤で高い防除効果が認められた。菌感染後の散布ではポリカーバメート水和剤で発病抑制効果は認められたが、その程度はやや低かった。

(3) 以上の結果から、キュウリ炭疽病、褐斑病の薬剤防除において予防散布が有効であり、菌感染後の散布では防除効果はほとんど期待できない。また、ジェトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤、マンゼブ水和剤、TPN水和剤の予防散布では炭疽病、褐斑病の両病害に高い防除効果を示したことから、同時防除が可能であると考えられた。

4 その他の資料など